

プラグキャップお取り付け時の注意

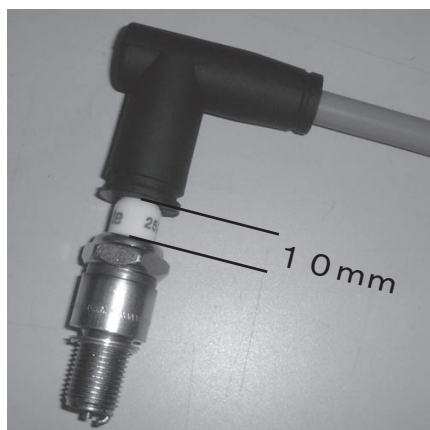


プラグキャップを確実に取り付けないと、リーク等によりエンジン不調を起こしたり、感電等により怪我をする恐れがあります。作業を行う際は必ず作業に適した場所で、エンジンが冷えた状態で行ってください。

- ◆ 当製品のプラグキャップ部は、大電流に絶えるためにゴム部が純正品に比べきつくなっています。
- ◆ プラグキャップ内側部(a)には凸凹が有り、プラグの(b)部の凸凹と噛み合っているような感触になりますが、内部の金属部品は噛み合っておりません。ガリッという金属がこすれる感触が有る所まで、確実に差し込んでください。



× 不完全な取り付け状態 ×



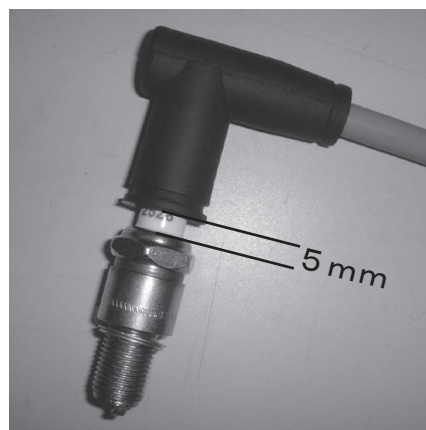
ゴムがプラグの凸凹部に噛み合っている状態。

確実なスパークが得ることが出来ず、アイドリングが不安定になったり、パワーが出なくなったりします。



この状態で使用していると、内部リークによる高熱で、プラグやプラグコードが破損する事があります。

○ 完全な取り付け状態 ○



プラグキャップが確実に装着された状態。

プラグのセラミック部(白)が約5mm程度見える状態が正常です。



セラミック部が10mm近く見える場合は、プラグキャップは正確に装着されていません。

プラグキャップを真っすぐに押しながら軽く左右に回して写真の状態まではめて下さい。